



東北の元気、
日本の元気を青森から

青森県における新産業創造への挑戦

平成24年度版

青森県商工労働部新産業創造課

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunya/soshiki/shoko/sozoka.html>

目次

I	本県産業の現状と今後の方向性	……………	p	3
II	新産業の創出に向けた取組			
1	あおもり産学官金連携の推進	……………	p	14
2	青森ライフイノベーション戦略の推進	……………	p	34
3	情報産業の振興	……………	p	74
4	知的財産の支援	……………	p	90
5	あおもり農工ベストミックス新産業創出構想の推進	…	p	106
6	ICTの安全安心支援への活用（庁内ベンチャー事業）	……	p	128

<本県産業の現状と今後の方向性>

<本県産業の現状と今後の方向性①>

【青森県内人口構成の年次推移】

引用)平成22年青森県人口移動統計調査

◆平成20年に140万人割れ。高齢者人口（65歳以上）の比率が増加する一方、年少人口（0～14歳）は減少傾向。

(単位：人、%)

年次	総人口	構成比					
		年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)
平成 18 年	1,423,412	194,018	896,042	333,072	13.6%	63.0%	23.4%
19	1,408,589	188,669	879,629	340,011	13.4%	62.4%	24.1%
20	1,394,806	184,226	864,347	345,953	13.2%	62.0%	24.8%
21	1,382,517	178,828	852,035	351,374	12.9%	61.6%	25.4%
22	1,371,265	173,997	843,833	353,155	12.7%	61.5%	25.8%

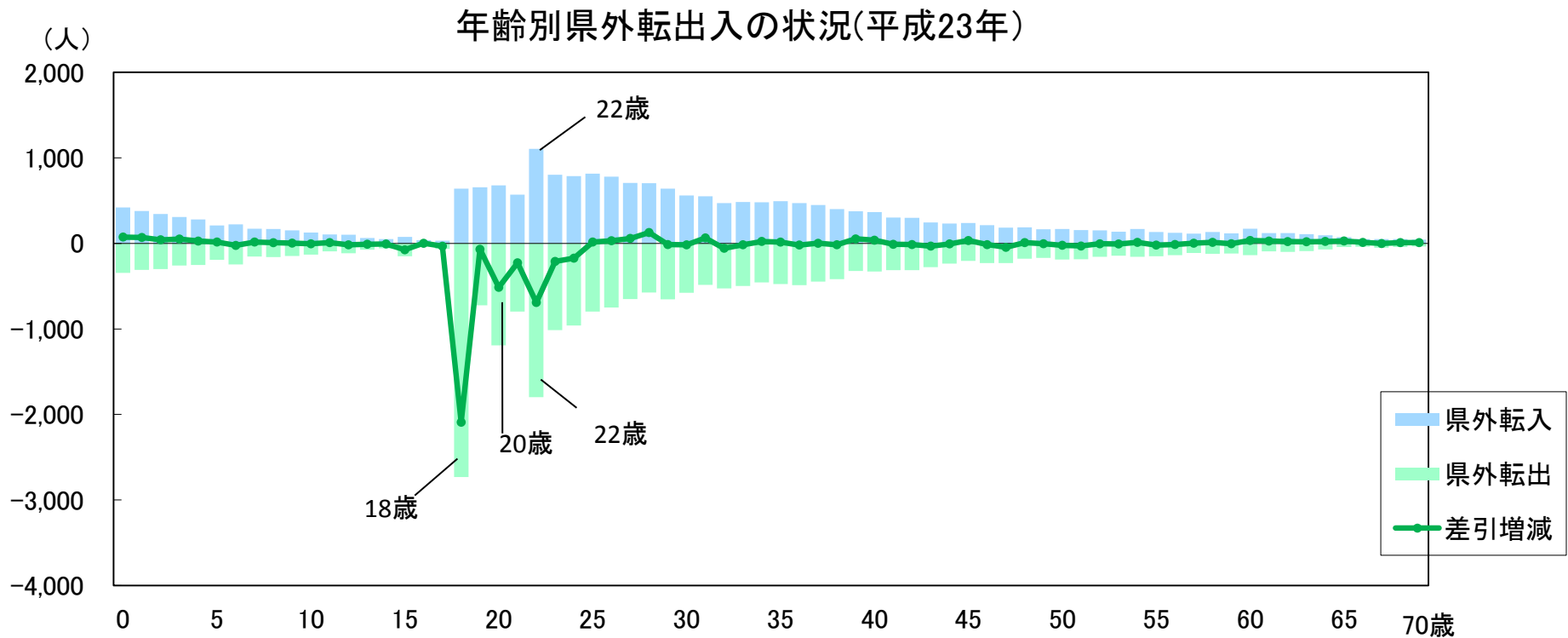
(注1)平成22年は平成17年国勢調査結果を基礎に推計しているため、平成22年国勢調査人口とは一致しない。

(注2)総人口には、年齢不詳者数を含んでいる。

<本県産業の現状と今後の方向性②>

【年齢別県外転出入の動向】

◆ 県外転出者数は、18歳が最も多く、次に22歳、20歳と続く。また、県外転入者数は、22歳をピークとして、年齢が高くなるにつれて減少



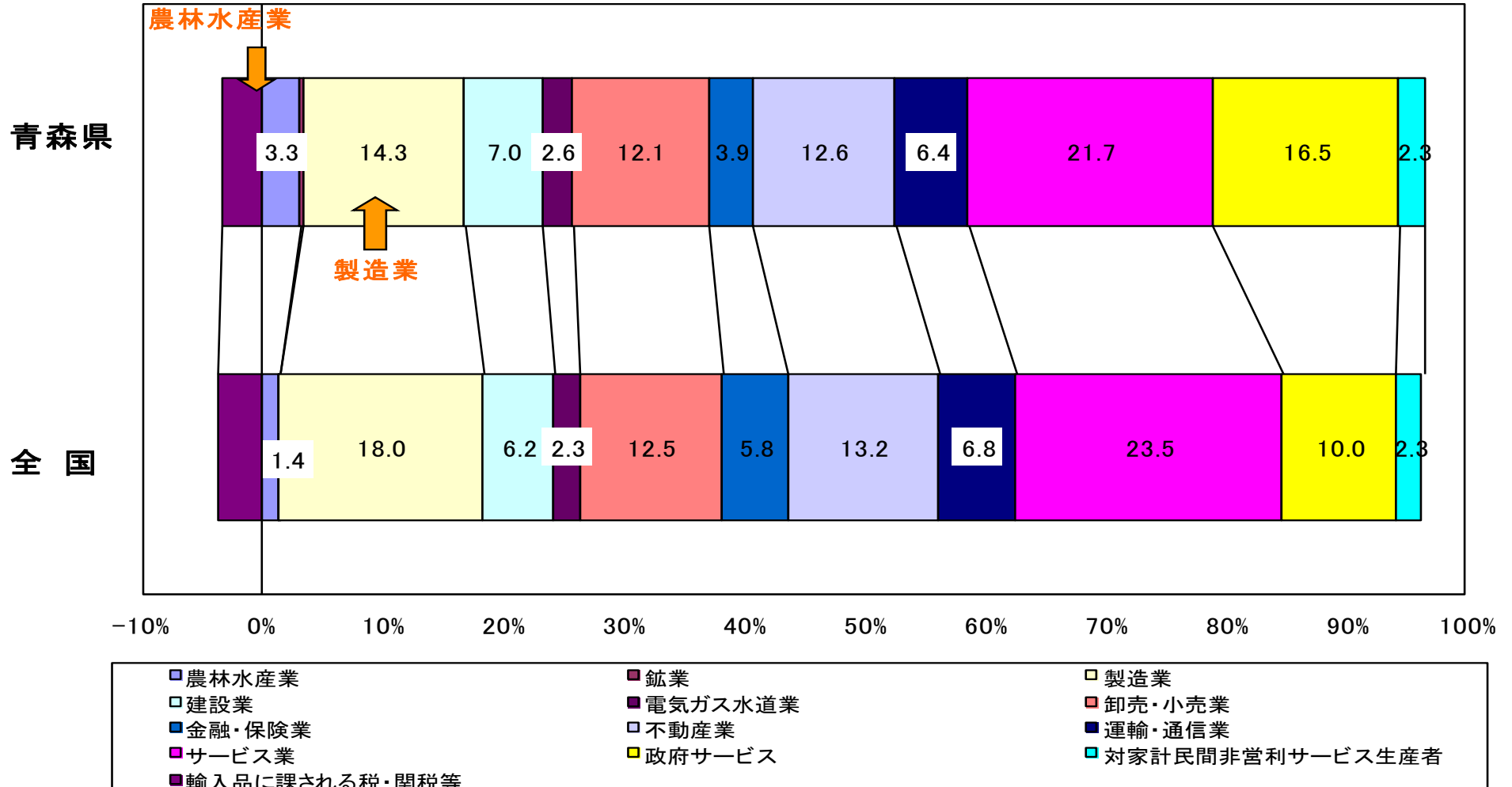
資料) 県統計分析課「推計人口」

<本県産業の現状と今後の方向性③>

【産業構造上の特徴1】

参照) 内閣府「平成21年度国民経済計算確報」、青森県平成21年度「県民経済計算」

◆ 県内総生産の経済活動別構成比（平成21年度）を全国と比較すると、製造業が低く（青森14.3%：全国19.4%）、農林水産業のウエイトが高い（青森3.3%：全国1.2%）

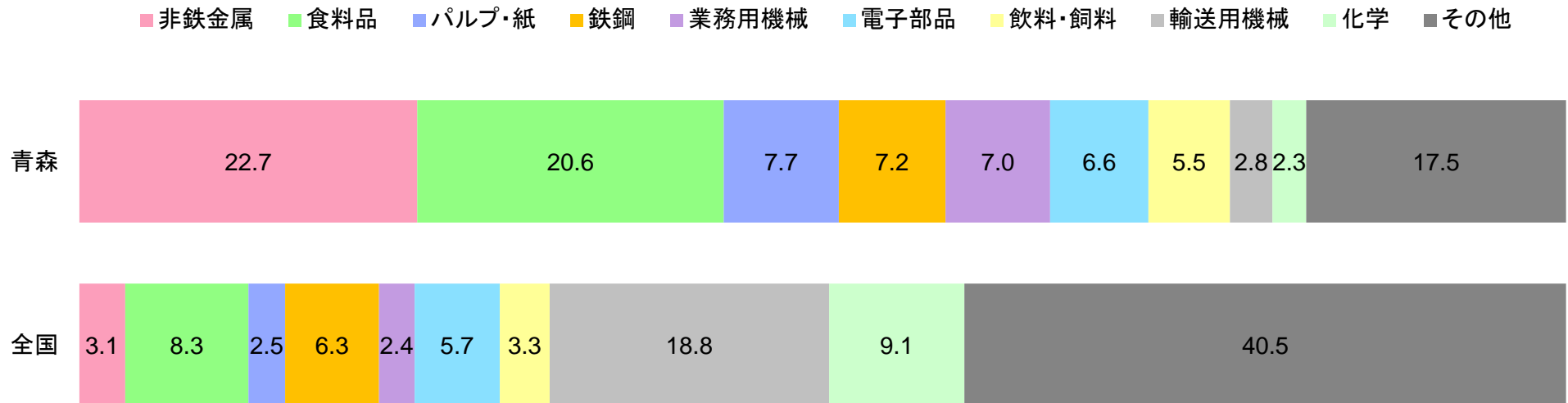


<本県産業の現状と今後の方向性④>

【産業構造上の特徴2】

- ◆業種別の製造品出荷額は、全国と本県の業種構成に大きな違い。本県では、非鉄金属が22.7%と最も高く、次いで食料品、パルプ・紙の順。
- ◆一方、全国では、輸送用機械の割合が18.8%と最も高く、次いで食料品、化学の順。

業種別の製造品出荷額等



資料) 経済産業省「平成22年工業統計表」確報値、県統計分析課「平成22年青森県の工業」

<本県産業の現状と今後の方向性⑤>

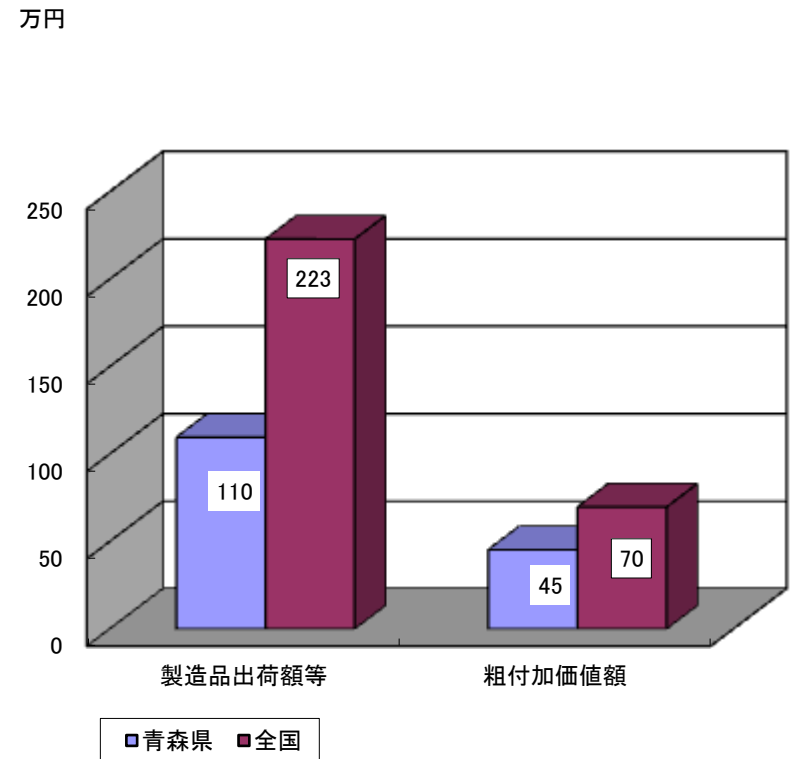
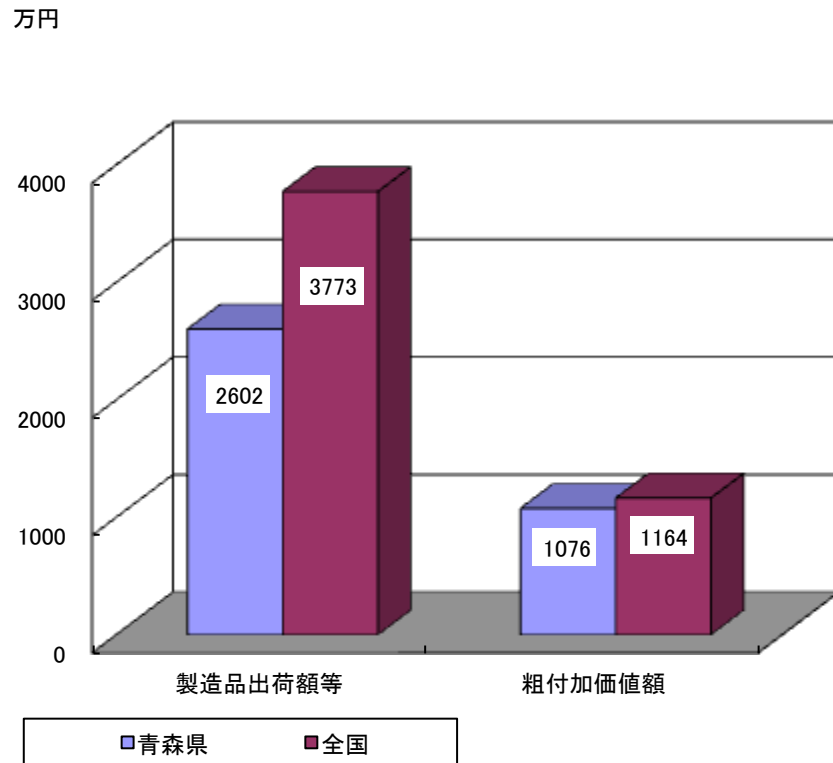
【製造品出荷額等及び粗付加価値額】

参照) 経済産業省「工業統計速報」

◆ 従業者1人当たり、人口1人当たりの製造品出荷額等及び粗付加価値額（平成22年）ともに全国に比べて下回っている。

従業者1人当たりの製造品出荷額等と粗生産額

人口1人当たりの製造品出荷額等と粗生産額



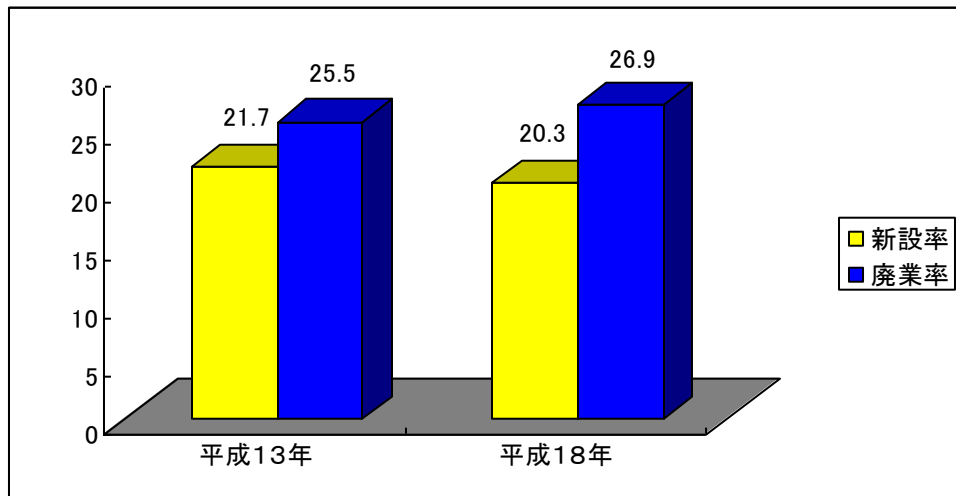
<本県産業の現状と今後の方向性⑥>

【事業所の増減率】

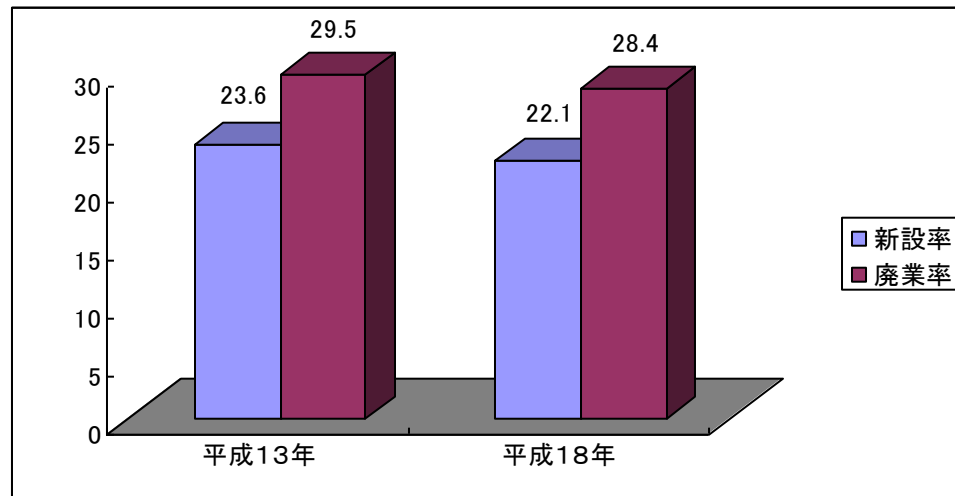
参照)平成18年度 事業所・企業統計調査結果の概要

◆事業所の増減率は、本県でも全国でも廃業率が新設率を上回っている。

事業所の新設率及び廃業率の推移(民営・平成13年、18年、青森県)



事業所の新設率及び廃業率の推移(民営・平成13年、18年、全国)



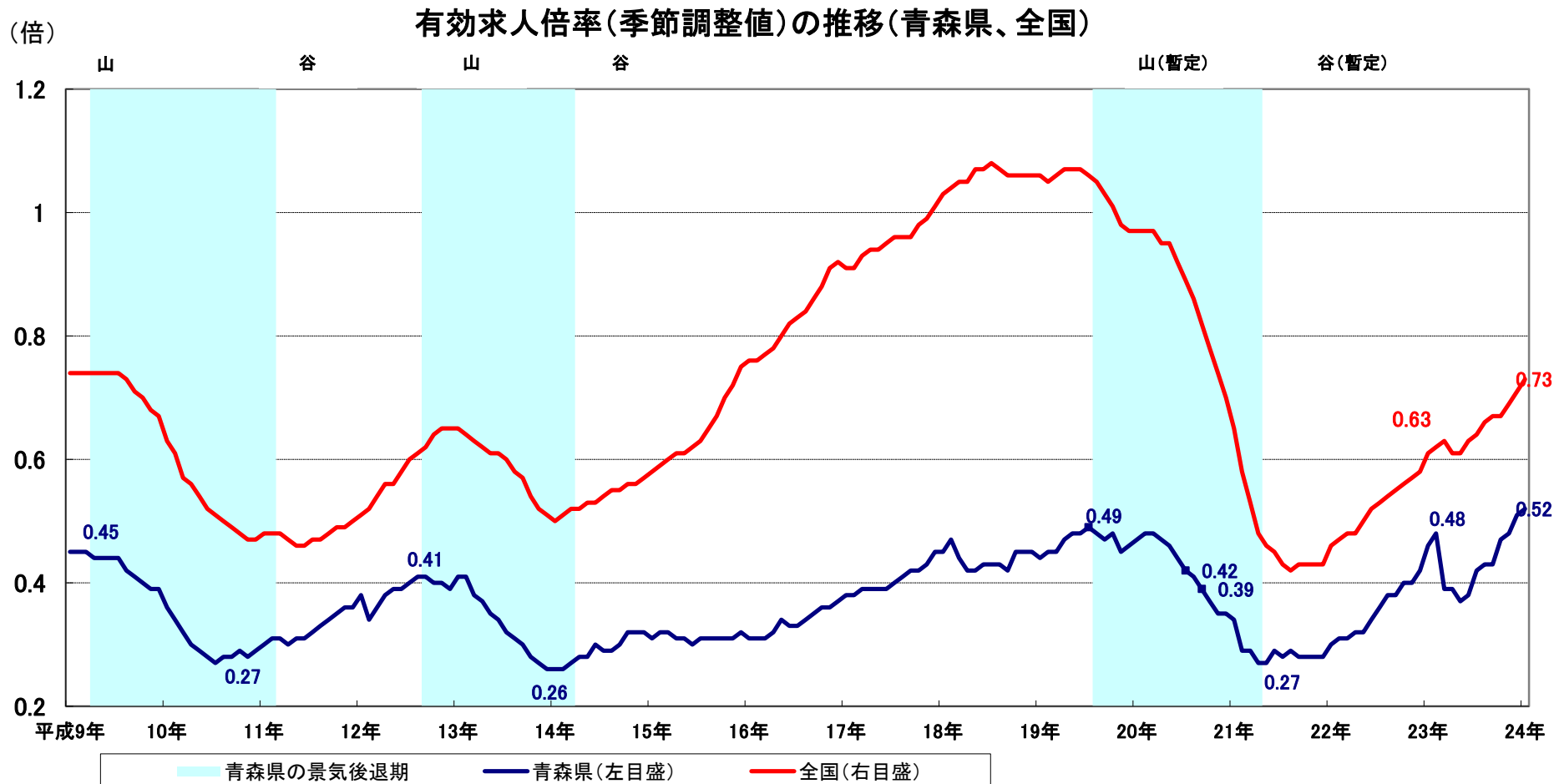
新設、廃業事業所数及び割合(平成13年、18年)

調査年	新設事業所数		新設率(%)		廃業事業所数		廃業率(%)	
	*1		*2		*3		*4	
	青森	全国	青森	全国	青森	全国	青森	全国
平成18年	14,378	1,358,485	20.3	22.1	19,010	1,743,583	26.9	28.4
平成13年	17,105	1,541,939	22	23.6	20,135	1,925,464	25.5	29.5

<本県産業の現状と今後の方向性⑦>

【有効求人倍率の推移】

◆青森県の有効求人倍率は、全国最下位レベル。



資料)厚生労働省「職業安定業務統計(一般職業紹介状況)」

<本県産業の現状と今後の方向性⑧>

【研究者数、特許出願数】

- ◆青森県の研究開発に関わる科学研究者数は全国最下位クラス、技術者数は全国40位。
- ◆青森県の特許出願件数は全国で最下位クラス。

青森県内の研究開発に関わる人的資源の状況

区分	県内の人数	全国順位
科学研究者数	200	43
技術者数	10,300	40

参照) 平成22年国勢調査抽出速報集計

青森県からの特許出願状況

年(暦年)	20年	21年	22年
出願件数	152	131	119
全国順位	45	47	47

参照) 特許行政年次報告書

<本県産業の現状と今後の方向性⑨>

【豊富な地域資源】

参照)ピカイチデータ 数字で読む青森県2011

◆青森県には競争力・比較優位がある農林水産資源などの地域資源が豊富に存在。

農林水産資源

項目	全国順位 (年度)	青森県の値
ながいも収穫量	2位(22)	58,600トン
ごぼう収穫量	1位(22)	52,700トン
にんにく収穫量	1位(22)	13,400トン
あんず収穫量	2位(20)	561トン
りんご収穫量	1位(22)	452,500トン
天然ヒバ蓄積量	1位(22)	12,667千m ²
いか類漁獲量	1位(21)	80,307トン
ひらめ漁獲量	1位(21)	983トン
ほたて貝生産量	2位(21)	106,130トン
しじみ漁獲量	2位(21)	2,786トン
こいの漁獲量	1位(21)	117トン

その他資源

項目	全国順位 (年度)	青森県の値
その他の水産缶詰・瓶詰 出荷金額	3位(21)	94億円
温泉地数	4位(21)	150箇所
公衆浴場数	1位(20)	24.8所／10万人
風力発電導入量	1位(23)	292,540kw
少年少女発明クラブ数	2位(22)	13

項目	全国順位 (年度)	青森県の値
冷涼な年平均気温	3位(20)	10.7℃
工業地の平均価格	3位(22)	10,600円／m ²

<本県産業の現状と今後の方向性⑩>

<本県産業の課題>

- 農林水産業のウェイトが高い本県産業構造を踏まえ、生産性・付加価値の向上を図ることが必要
- 産業連関・集積を高め、自律的かつ強靱な経済構造を構築することが必要
- 本県が比較優位を有する地域資源を最大限に活用し、広く県外市場(首都圏等の大消費地)に売れる技術・製品づくりを促進することが必要

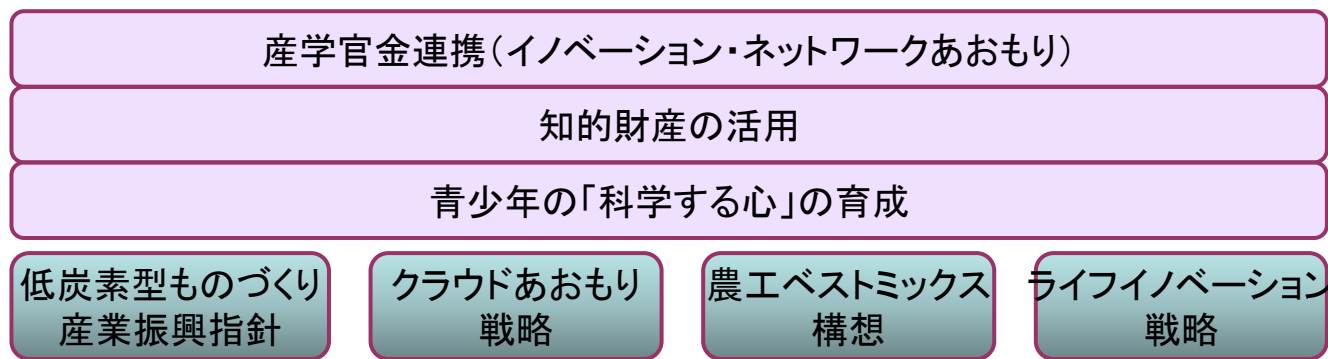
<対応の方向性>

低炭素型ものづくり(グリーン)、医療・健康福祉(ライフ)、農工連携(農工ベストミックス)等の産業、情報産業等の産業クラスター形成を強力に推進する

その際、

- ①産学官金の連携促進 ②知的財産の活用 ③青少年の「科学する心」育成を通じた人材育成等の横断的な施策を効果的に組み合わせしていく

さらに、企業誘致や地域ファンド、創業支援等の関係部局の施策も最大限に活用する



【地域イノベーション戦略推進地域】(青森県全域)
あおもりグリーン&ライフシナジーイノベーション創出エリア